

TDCSOFT Report

第73期 決算報告

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日

株主の皆様へ



代表取締役社長
小林 裕嘉

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、「TDCSOFT Report 第73期決算報告」をお届けいたします。

当社は、2025年4月から2028年3月までの中期経営計画「Be a Visionary System Integrator」を始動しました。現代社会の複雑化に伴い、お客様や各業界が抱える課題も一層複雑かつ多様化しています。このような状況下において、当社は、未来を見据えた先見性を磨き、卓越した開発技術と革新的なサービスを提供し、お客様にとって唯一無二の存在となり、長期的な成長を実現することで、株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。

その中で、当社グループは二つの基本戦略を定めております。

一つ目の「専門性・知見の多角化と高度化」では、専門性の高い分野をより多岐にわたって保有することで、ますます複雑化する顧客課題への対応力を向上させることを目指します。

二つ目の「顧客の価値につなげる提案力の向上」では、要素技術の特性と顧客の状況や戦略に対する深い理解に基づき、ITを効果的に活用して顧客価値を最大化する提案力を高めることを目指します。

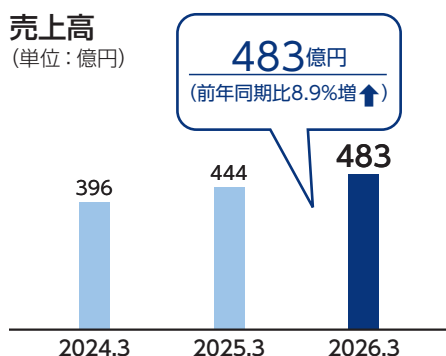
2026年3月期の業績は、売上高は48,359百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は5,159百万円（前年同期比8.1%増）、経常利益は5,359百万円（前年同期比9.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,880百万円（前年同期比13.0%増）と、力強い成長を実現しております。

株主の皆様には、引き続きご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

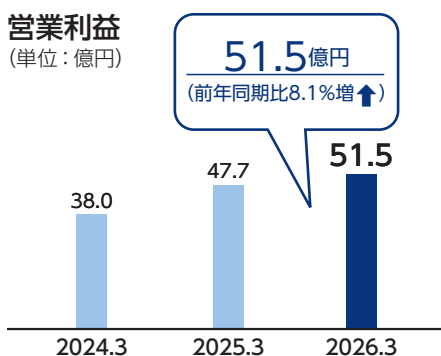
2026年5月

▶ 業績ハイライト - Financial Highlight -

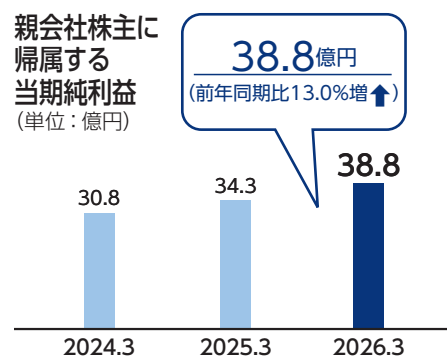
売上高
(単位：億円)



営業利益
(単位：億円)

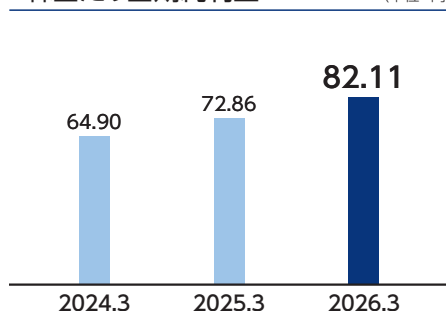


親会社株主に
帰属する
当期純利益
(単位：億円)



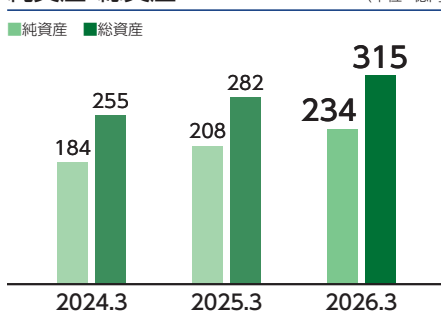
1株当たり当期純利益

(単位：円)



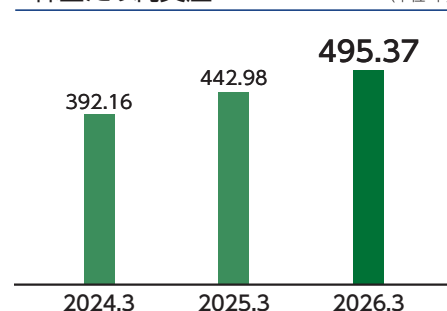
純資産・総資産

(単位：億円)



1株当たり純資産

(単位：円)



※当社は、2024年4月1日付けで、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。各連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」を算出しております。

中期経営計画

Be a Visionary System Integrator

売上高 **600** 億円

営業利益 **62** 億円

専門性・知見の多角化と高度化

専門性の高い分野をより多岐に保有し、複雑化する顧客課題への解決力を高める

基本戦略
1

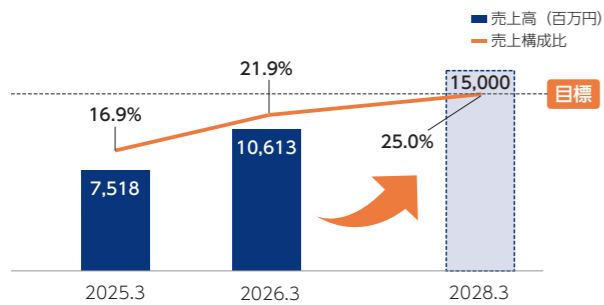
×

基本戦略
2

顧客の価値につなげる提案力の向上

要素技術の持つ特性と顧客の状況、戦略に精通し、ITを顧客の価値につなげる提案力を向上

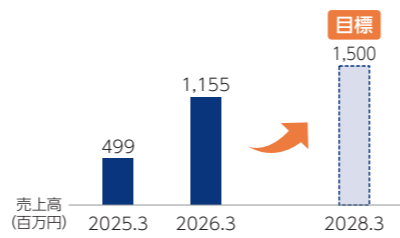
高付加価値ビジネス



ITコンサルや高度な業務知識を要するシステム企画・設計、技術的難易度の高い案件等にも積極的に対応することで、関連売上は着実に伸長し、売上高は前年度から大幅に増加し全売上高に占める構成比も前期より5%向上。

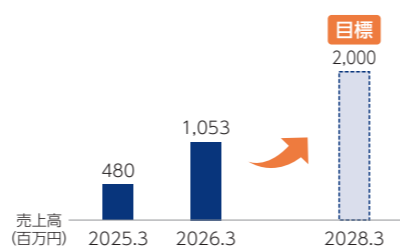
コンサルティング事業

コンサル要員の拡大と昨年度に実施したマーケティング活動等により、数多くの新規顧客のリード案件を獲得した結果、前年度より131.4%の増収。



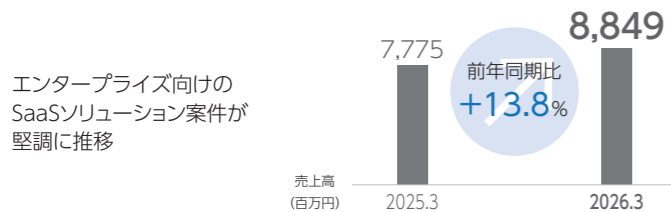
製品販売事業

自社製品やService Now、さらにセキュリティ商材の販売が大きく拡大したことにより、前年度から119.3%増収。

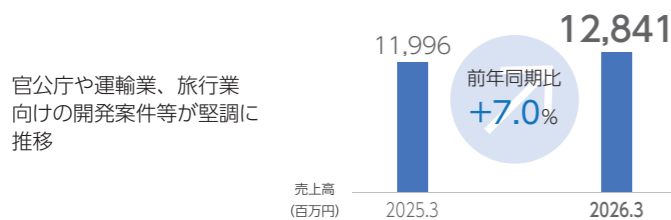


2025年4月～2026年3月 事業分野別概況

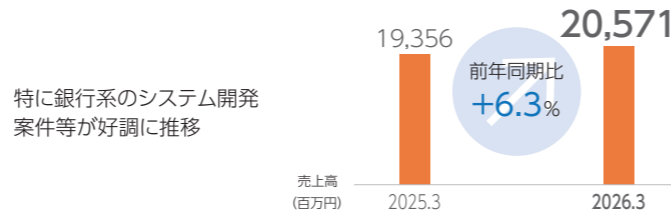
ITコンサルティング&サービス



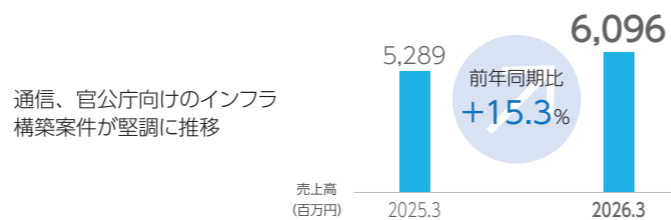
公共法人ITソリューション



金融ITソリューション



プラットフォームソリューション



TOPICS

最新のサービス

●プライベートAIサービス「Nenoa」を提供開始

お客様の事業をドライブする新サービスの拡充として、閉域網や厳格なセキュリティ環境においてプライベートAIを即座に利用開始できる設置型端末「Nenoa」の提供を開始。



●レガシーシステム移行支援「Movina」を提供開始

UNIXや各種フレームワークなど、レガシーシステムの刷新・移行をワンストップで支援する「Movina」の提供を開始。

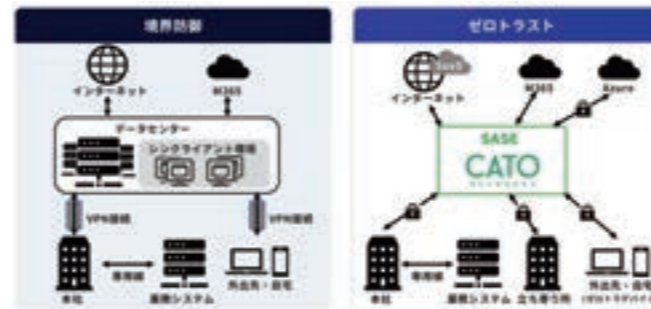


言語変換	フレームワーク移行	ブラウザ刷新
Microsoft系 ASP → ASP.NET VB → VB.NET VB.NET → CF VC → CF Delphi → CF メインフレーム/UNIX系 COBOL各種 → COBOL2002 COBOL各種 → NetCOBOL COBOL各種 → MF COBOL COBOL各種 → CF COBOL各種 → Java Assembler → COBOL BAGLES → COBOL JCL → Shell PL/I → Java RPG → Java VS → Java C → Java	Microsoft系 JET Framework → .NET WebForms → MVC WebForms → Blazor Java系 Terminus1 → S Terminus2 → S Struts → Spring Boot Scazar2 → Spring Boot Intra-mart → Spring Boot	IE → Edge, Chrome データベース移行 Oracle → PostgreSQL PL/SQL → PGSQL PL/SQL → azalea/sparkSQL 各種DB → ADB 各種バージョンアップ JSPバージョンアップ Intra-martバージョンアップ JQueryバージョンアップ

最新の顧客事例

●きらぼしライフデザイン証券様 ゼロトラスト環境構築

「Cato SASE Cloud」を中核とするゼロトラスト環境へのIT基盤刷新プロジェクトを支援し、実質3カ月という短期間で移行を完了。きらぼしライフデザイン証券様のセキュリティ強化と営業現場の利便性向上を同時に実現。



●三井物産流通グループ様 基幹システムの刷新

単なるシステム構築に留まらず、コンサルティングとアジャイル開発によってプロジェクトを強力に牽引し、開発コストを4分の1に大幅圧縮。お客様の自律的なIT活用を導き、『Smartな組織』へとDNAを刷新する次世代の人材育成まで結実させた組織変革のプロジェクトを支援。



2027年3月期 見通しについて

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	EPS (円)	配当予想 (円)
第2四半期 (累計)	25,100 (+7.5%)	2,860 (+8.0%)	2,960 (+7.4%)	1,990 (+0.3%)	42.06	—
通期	53,000 (+9.6%)	5,600 (+8.5%)	5,800 (+8.2%)	3,915 (+0.9%)	82.75	34

- 事業環境は引き続き堅調に推移し、前期比9.6%増収を見込む
- 競争優位性の確保に向けた投資として、AIを含む先端技術の獲得や戦略的なキャリア採用の推進、エデュケーション施策のさらなる強化などに積極的に取り組む
- 配当について、中期経営計画に基づき、配当性向40%台を維持する34円を予定

会社概要 (2026年6月26日現在)

会社名	TDCソフト株式会社 TDC SOFT Inc.
創業	1962年(昭和37年)10月16日
上場市場	東京証券取引所 プライム市場(証券コード4687)
資本金	9億7,040万円
事業内容	・ITコンサルティング&サービス ・金融ITソリューション ・公共法人ITソリューション ・プラットフォームソリューション
事業所	本社 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス 4階、5階 Techno Growth Center Shinjuku 東京都渋谷区代々木3丁目22番7号 新宿文化クイントビル 7階 関西支社 大阪府大阪市中央区北浜三丁目1番18号 島ビル 2階、7階
グループ従業員数	2,661名

経営体制	代表取締役社長 小林 裕嘉 取締役専務執行役員 小田島吉伸 取締役執行役員 河合 靖雄 取締役執行役員 熊田 稔 取締役執行役員 村上 知也 取締役執行役員 梶 保夫 取締役執行役員 尾崎 集一 取締役(社外) 中川 順三 取締役(社外) 川崎久実子 取締役(社外) 倉本 昌和 取締役(社外) 山本 裕子	常勤監査役(社外) 森 徹宏 常勤監査役 野崎 聡 監査役(社外) 岡松 宏明 常務執行役員VP 真下 研一 執行役員FL 上條 英樹 執行役員EP 河口 聡 執行役員EP 鈴木 修一 執行役員EP 市橋 佳 執行役員GM 井上 拓也
※呼称について	VP (ヴァイスプレジデント) FL (フェロー) EP (エグゼクティブプロデューサー) GM (ジェネラルマネージャー)	

関係会社	TDCフューテック株式会社 東京都中央区東日本橋三丁目6番11号 日本橋橋ビル 2階 エールビジネスコンサルティング株式会社 東京都千代田区神田須田町2丁目17番 神田INビル 4階 コムドシステム株式会社 東京都中央区新川1丁目2番2号 GC茅場町ビル 3階
------	--



決算説明会資料と動画

決算の概況などについて、説明しております。
ぜひご覧ください。

《TDCソフト 決算説明会》で検索

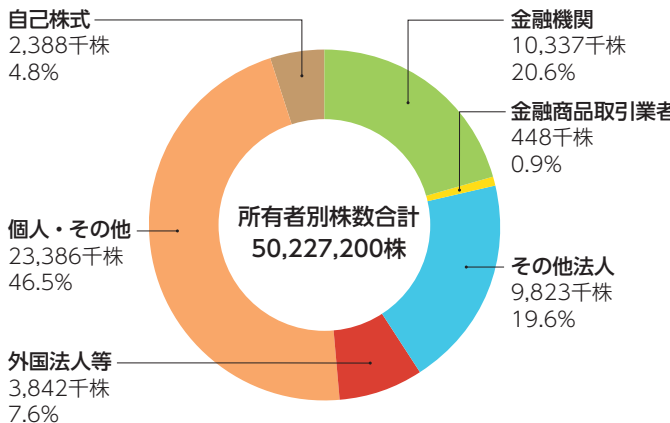
株式情報 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,227,200株
株主数	5,319名

大株主	持株数(株)	持株比率
有限会社野崎事務所	6,315,300	13.2%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,179,300	8.7%
TDC社員持株会	3,920,900	8.2%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,878,300	3.9%
野崎 聡	1,610,400	3.4%
株式会社IDホールディングス	1,200,000	2.5%
野崎 哲	1,138,400	2.4%
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,124,500	2.4%
藤井 吉文	1,089,400	2.3%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	993,847	2.1%

(注)当社は、自己株式2,388,225株を保有しております。
また、持株比率は自己株式数を控除して計算しております。
(注)当社は、2026年5月14日に自己株式700,000株を取得しており、同株式については2026年6月26日に消却を予定しております(本書作成時点)。

所有者別分布状況



株主メモ (株式に関する手続きについて)

事業年度	4月1日~翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.tdc.co.jp/ やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	株主名簿管理人	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	特別口座の口座管理機関	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	【手続き書類のご請求方法】 ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選べません。

TDCソフト株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス 4階、5階
<https://www.tdc.co.jp/>

CM絶賛公開中

《TDCソフト CM》で検索

